

からはし通信

2019. 11. 29

No.1

発行：社会福祉法人 唐橋福祉会

編集：理事長 下村つとむ

この「あいあい通信」は、理事・監事・評議員などのみなさんにお届けします。

指導監査 無事に終わりました。

毎年、大津市の福祉指導監査課から数名の担当者が来園して、保育園や法人の運営が適切に行われているかの監査と指導を行います。本年は、11月15日。膨大な一年分の書類を整理して待ち受けました。1億7千万円に及ぶ経理、子どもや職員の処遇、園運営、給食などの分野ごとに綿密な検証が行われ、不十分な点について指摘がなされました。

全体的に、直ちに改善しなければならないような重大な指摘はなく、ホッとしたところですが、日常の保育の運営・子どもの処遇に関しては、担当者が保育現場上がりの元園長らしく、保育を高めるための助言指導がたくさん行われました。改善を要する点については近々に文書で通知されることになっています。

法人の給与規程や就業規則などについて数か所、細かな文言の修正が求められましたので、次回の理事会で改正いただきたいと思えます。

公立保育園の民営化 反対署名は978名

皆さんにもご協力いただいてきた反対署名は、どんどん増えて当園の目標1000名を間もなく越えそうです。本当にありがとうございます。12月1日に市全体の集約が行われます。数万の署名を市長に届けたいと思えます。

民営化を強力に進めてきた越市長は退陣を表明しましたが、市長が変われば撤回されるものではありません。市議会は、天神山保育園の民営化にストップをかける請願を満場一致で採択しましたが、新しい市長がこれをしっかりと受け止めてほしいものです。

民営化とともに、株式会社立保育園の量産も大変心配です。当園の近くに、来春4月、2園も株式会社立が新設されます。単に受け皿を増やすだけの増設は、子どもの幸せにつながりません。同じ大津の子どもでありながら、悲しむべき現実です。

実りの秋 園庭は果物が大豊作

あいあいの庭に植えられた様々な果物が大豊作です。玄関前のハチヤ柿のほか、ハッサクは25個以上も大きな実をつけています。このハッサクは、19年前に植樹されたのに、アゲハ蝶の幼虫に葉を食い荒らされて、木が育たず、実もならない状態がごく数年前まで続いていました。数年前から突然、葉が繁り、枝が伸び、実がなり始めました。実の数も急速に増えています。間もなく収穫です。子どもたちとともに楽しみます。